

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 13 日

評価対象事業		評価者	学校施設課長	下澤 敦
教育-17	実施事業	中学校施設管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 学校施設課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 教育総務課
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	教育内容・教育環境の充実

1 事業の目的

対象	市立中学校9校
意図	中学校の施設・設備の機能を維持するため。
効果	生徒の安全・安心な教育環境を整える。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・中学校施設・設備の機能を維持し、安全を確保するため、各種点検や修繕を実施した。 ・前年度からの繰越明許費により、腰越中学校東側目隠しフェンス修繕を実施した。 ・前年度からの繰越明許費により、第二中学校法面崩落復旧修繕は、年度内に完了できないため、翌年度に繰り越した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	3,350人	3,317人	3,317人	3,317人	3,438人	3,438人	
運営資源状況	決算値(千円)	56,186	94,211	94,211	当初予算(千円)	67,264	
	国県支出金		3,326	3,326	国県支出金		
	地方債		16,600	16,600	地方債		
	その他	332	348	348	その他	290	
	一般財源	55,854	73,937	73,937	一般財源	66,974	
	人員配置数	0.7	0.7	0.7	人員配置数	0.7	
人件費(千円)	5,411	5,548	5,548	人件費(千円)	5,537		
事業経費運営	総事業費(千円)	61,597	99,759	99,759	総事業費(千円)	72,801	
	市民1人当りの経費(円)	349	565	565	市民1人当りの経費(円)	412	
	対象者1人当りの経費(円)	18,387	30,075	30,075	対象者1人当りの経費(円)	21,175	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	協 働	市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	事業へ統合	
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 老朽化が進む施設や設備を維持していく上で、予算規模を縮小することは困難である。
	総評(評価に対する考え方、根拠等) 老朽化が進む施設及び設備の緊急性や優先度を考慮しながら、限られた予算の範囲で順次修繕を実施することにより、教育環境の維持に努めている。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	老朽化の進む施設及び設備については、限られた予算の範囲で維持保全と延命に努める必要がある。また、台風等による災害に備え、樹木の適正管理が必要である。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	施設や設備の修繕に当たっては、限られた予算を効果的に執行するため、緊急性の高い案件や児童の安全に関する案件を優先的に実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	老朽化の進む施設及び設備のうち、特に費用を要する案件への対応が課題である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--